

〈図画工作科〉 6年

現在の分析

〈造形への関心・意欲・態度〉

・ 図工の時間を楽しみにしており、児童同士の関係も良好であるため、伸び伸びと自分らしい表現に取り組んでいる。

〈発想や構想の能力〉

・ 材料や素材、用具など様々なものをきっかけにイメージをふくらませて活動している。

〈創造的な技能〉

・ 既習の技能を生かして活動したり、新たな表現方法を試したりして表現している。難しい技能が伴う活動にも前向きに取り組む。

〈鑑賞の能力〉

・ 日常的にお互いの活動の良さを認め、自分の作品に取り入れるなど相互の鑑賞ができています。

重点課題

〈造形への関心・意欲・態度〉

・ 主体的に表現したり鑑賞したりする様子が見受けられる。中学校に向けて、社会や生活を豊かにすることにも目を向けて学びを広げることが必要である。

〈発想や構想の能力〉

・ 感じたこと、想像したこと、見たこと、伝え合いたいことから、どのように主題を表すかについて考えること。

〈創造的な技能〉

・ 表したい感じや主題にあわせて、材料や用具を生かして活動すること。

・ 既習の技能を総合的に活かして課題に取り組むとともに、表現に適した方法などを組み合わせるなどして工夫して表すこと。

〈鑑賞の能力〉

・ 自分や友達の作品のよさや工夫したことに注目しながら、自分の見方や感じ方を広げる。

・ 日本や諸外国の美術作品に触れ、その表現方法や感じ方などについて自分なりの見方を文字や言葉で表したり、話し合ったりする。

授業改善策

〈造形への関心・意欲・態度〉

・ 身の周りの環境や材料の色や形に興味をもてるように、課題や材料の提示方法や導入を工夫する。

・ 美術作品や身近な作品などを見せ、様々な表現があることを伝え、作ったり表したりする意欲を高める。

〈発想や構想の能力〉

・ ワークシートやアイデアスケッチを効果的に用いることで作品のイメージや活動の見通しを持ちやすくする。

・ 材料や道具との出会わせ方を工夫し、表現の可能性を示すことで発想の幅を広げる。

〈創造的な技能〉

・ 身につけてほしい技能や方法を段階的に身につけられるようにスモールステップで授業を考える。

・ 課題の中でいろいろな表し方を試みたり工夫したりできるようにする。

・ 材料や道具を応用的に使えるように、既習の学習に加え発展的な使い方表し方を示す。

〈鑑賞の能力〉

・ 互いの作品を見合う場を設定し、見つけたよさや美しさを自分の作品に取り入れたり、文字や言葉で表したりする活動を行う。

・ 美術作品を鑑賞し、感じたことや思ったことを話し合い、表し方や表現の意図、特徴等を自分の表現に取り入れられる題材を工夫する。